

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

我が子に遺すべきは自分の生き方 寺田 一清 (不尽叢書刊行会代表)

1. 男はいかに生きるべきか。「主体性のある人間になれ」と森信三先生は説かれています。そして、そのためにはまず一つは、腰骨の立った人間になるということです。主体性とは、平たくいえば性根とか根性とかいわれるもので、性根づくりの秘訣は「立腰」のほかないというのが森先生の持論でした。二つ目は、生活規律を持つこと。つまり、日々の生活の中で自分はこれだけは守りぬくというものを持つことです。
2. いつの頃からか、父親の権威が失墜したといわれるようになりました。森先生は「父親は息子に対して一生のうち三度叱るか、それとも一度も叱らないか、どちらかに肚を括らなければならない」と説かれています。森先生は、我が子の人間教育、とりわけ基本としての躰の責任は、その 9 割までは母親にあり、父親の役割は、自分の人生観に基づいて人間としての行き方の方向を示すこと、言い換えれば子供に生き方の種まきをするところにあると説かれています。
3. 人間の一生というものは、一難去ってまた一難、山また山の連続といえます。男が我が子に遺すべきものは、お金ではありません。自分の生き方です。生き方の流儀こそが何よりの遺産となるのです。

(参考:「致知」2010 年 7 月号)

経営者のための経済学

アフリカと BRICs 諸国の貿易額が拡大

1. 南アフリカ共和国で、今、経済構造が大きな転換点を迎えている。昨年、輸出・輸入ともに、中国が最大の貿易相手国として躍り出たことが明らかになった。南アの主要貿易国はこれまで、米国、日本、英国、ドイツの 4 カ国だった。特に日本は輸出先として 2008 年まで、トップの座を米国と争ってきたが、先進国が景気後退に陥る中で、一気に中国が浮上した格好だ。
2. アフリカ大陸全体 (人口 9 億人超) で見ても、中国向け輸出は 1992 年時点で 10 億ドル (約 930 億円) 未満だったが、2008 年には 540 億ドル (約 5 兆 220 億円) 以上に拡大し、米国に次ぐ第 2 位。中国だけではない。実はインド、ブラジル、そしてロシアという中国以外の BRICs 諸国との関係も深まっている。2000~2008 年までに、アフリカと BRICs の貿易額は約 8 倍に拡大。その 3 分の 2 は中国だが、インドとの貿易がこの間に年平均 23% 増を示すなど、ほかの国も存在感を高めている。

(参考:「日経ビジネス」2010 年 4 月 19 日号)

経営者のための営業学

ヒット商品の源泉は顧客の声 (ユニクロ)

1. ユニクロは、なぜかくもヒット商品を連発することができるのか。柳井正会長兼社長は、「商品は 1 人の天才によって作られるものではない」と話す。では、いったいどうやってヒット商品は生み出されているのか。同社の商品開発の要諦は、大きく二つある。第一に、顧客の声に愚直に耳を傾けて商品開発につながっている。同社には、店舗やインターネット、電話などを通して 1 カ月に約 3000 件の顧客の「生の声」が届く。顧客の不満にこそ商品開発のヒントがあるのだ。ヒットさせようと狙っているわけではない。顧客の声を一つひとつ商品に反映させ積み重ねていくことで、結果的にヒット商品が生まれる。
2. 商品開発のもう一つのと要諦は、素材メーカーである東レとの戦略提携だ。原料・原糸から両社が一体となって開発することで、他者にマネのできない商品開発につながっている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2010 年 5 月 29 日号)

古典に学ぶ

「修身教授録」・語録 50 選 (その 9)

1. 人間は一生の間に、少なくとも一度は、その人の「桜町時代」がなくては、だめである。(桜町時代とは尊徳翁の苦難時代のこと)。
2. われわれ人間も敬の一念を起すに至って、初めてその生命は進展の一步を踏み出す。
3. 家庭というものは、人間形成の道場である。
4. 幸福とは、自分の現在の生活の意味をかみしめ味わうところに生ずる感謝の念に他ならない。
5. 金持になれなくとも、金に困らぬ人間になるように。そのためには「基礎蓄積」が何よりたいせつ。

(参考: 森 信三「修身教授録抄」: 致知出版社)